

医療安全セミナーにおける各セッションのねらい

本セミナー全体のねらい

本セミナーは、

- ◆ エラーの本質を理解し、
- ◆ エラーの考え方に基づいて医療安全を見直し、
- ◆ チームで、安全で質の高い医療を実践できるようになる

ためのイントロコースです。

下記には、各プログラムのねらいを◆に記載しておりますので、ご確認下さい。

◆1日目:6月24日(水)

13:40～14:20 医療人養成のための取り組み(40分)

講師:文部科学省高等教育局医学教育課長 新木一弘

- ◆ 医学教育に関する文部科学行政について理解する。

14:30～15:20 最近の厚生労働行政の動きー医療安全を中心にー(50分)

講師:厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長 佐原康之

- ◆ 医療安全及び広く医療を取り巻く厚生労働行政について理解する。

15:30～16:10 リフレッシュセミナー①:ヒューマンエラー(40分):主催者

- ◆ 日常生活や医療現場におけるヒューマンエラーについて理解する。

16:20～17:00 医療安全に関する現状と課題(40分)

講師:大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部長 中島和江

- ◆ 医療安全に関する世界における最新動向を理解し、日本における今後の課題を検討する。

2日目:6月25日(木)

9:30～10:00 リフレッシュセミナー②:役に立つインシデントレポート(30分):主催者

- ◆ 医療安全に資するインシデントレポートに求められる情報について理解する。

10:00～10:50 リフレッシュセミナー③:インシデントレポートの部署での活用(50分):主催者

- ◆ 現場におけるインシデント活用のための教育・支援について検討する。

11:00～12:00 チームワークとコミュニケーション(60分)

講師:東邦大学医学部看護学科 准教授 中原るり子

- ◆ 医療安全におけるチームワークやコミュニケーションの重要性、手法を理解する。

13:00～14:00 医療安全とシミュレーション教育(60分)

講師:東京医科大学病院卒後臨床研修センター 助教 阿部幸恵

- ◆ 医療安全におけるシミュレーショントレーニングの有用性、教育実例を知る。

14:10～15:10 医療における“チーム・ダイナミクス”(60分)

講師:京都大学人間・環境学研究所 教授 杉万俊夫

- ◆ 医療安全における多部門・多職種の協働とリーダーシップについて理解する。

15:30～17:00 **医療情報システムと医療安全(パネル討論)**(90分)

座長:大阪大学医学部附属病院医療情報部長 **武田 裕**

「電子カルテシステムに潜むインシデントと対策」(25分)

講師:大阪市立大学医学部附属病院医療情報部 副部長 **朴 勤植**

「病院情報システムによる医療安全支援のポイントと課題」(25分)

講師:大阪大学医学部附属病院医療情報部 副部長 **松村泰志**

質疑応答・討論(25分)

◆ **医療情報システムの医療安全上の課題及び医療安全支援を理解する。**

3日目:6月26日(金)

9:30～10:30 **院内事故調査のコツ**(60分)

講師:自治医科大学附属病院医療安全管理部 教授 **長谷川 剛**

◆ **院内事故調査の基本的方針と具体的方法について理解する。**

10:40～11:10 **リフレッシュセミナー④:臨床における危険予知**(30分):主催者

◆ **危険回避のための患者評価の重要性を理解する。**

11:10～12:00 **早期発見・早期対応**(50分)

講師:大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 副部長 **高橋りょう子**

◆ **院内救急体制における早期対応(Rapid Response)の仕組みと職員教育について理解する。**

13:00～14:00 **航空安全:安全のストラクチャー**(60分)

講師:全日本空輸株式会社グループ安全推進部長 **田中龍郎**

◆ **航空業界のSMS(セーフティマネジメントシステム)から組織的安全対策の全体像を理解する。**

14:10～15:20 **失敗のしくみ**(70分)

講師:立教大学現代心理学部心理学科 教授 **芳賀 繁**

◆ **人間の心理や特性を理解し、インシデントを「エラー」や「状況」の観点から分析できるようになる。**